

令和2年12月14日

(お知らせ)

京都市文化市民局  
〔担当 元離宮二条城事務所〕  
〔TEL 841-0096〕

初実施！御殿での配置を再現して展示します！

「二条城障壁画 展示収蔵館」原画公開 令和2年度第4期

とおごむらい ちやくし  
桃山の花木～〈遠侍〉勅使の間の障壁画～

元離宮二条城では、「二条城障壁画 展示収蔵館」において、年4期にわたり二の丸御殿障壁画（重要文化財）の原画を公開しています。この度、第4期原画公開「桃山の花木～〈遠侍〉勅使の間の障壁画～」の開催について詳細が決まりましたので、お知らせします。今回は、勅使が控えたとされる〈遠侍〉勅使の間の障壁画《楓檜桃小禽図(かえでひのきももしょうきんず)》を、初めて、御殿での配置を再現して展示します。〈遠侍〉の杉戸絵も、初公開となります。

是非、この機会に二条城へお越してください。

### 1 会期

令和2年12月21日（月）～令和3年2月21日（日）〔60日間〕

※12月29日～31日は休館します。

### 2 入館時間

午前9時～午後4時30分（閉館は午後4時45分）

※二条城の入城受付は、午後4時まで。

### 3 会場

元離宮二条城内 二条城障壁画 展示収蔵館

（京都市中京区二条通堀川西入二条城町541番地）

※二条城にお越しの際は、公共交通機関を御利用ください。

### 4 入館料

100円（未就学児無料）

※別途入城料が必要。

※市内に在住・在学の小中学生、市内在住の70歳以上の方（敬老乗車証等で住所、年齢を確認できる方）、各種障害者手帳等をお持ちの方については、入館料を徴収しません。

### 5 公開作品と面数

(1) 〈遠侍〉勅使の間（下段）《楓檜桃小禽図(かえでひのきももしょうきんず)》（24面）

〈遠侍〉廊下 杉戸絵《芍薬図(しゃくやくず)》《桜小禽図(さくらしょうきんず)》（4面）

（合計：28面）

(2) 解説及び見所 裏面のとおり

### 6 お問い合わせ先

京都市文化市民局元離宮二条城事務所

〒604-8301 京都市中京区二条通堀川西入二条城町541番地

TEL：(075) 841-0096 FAX：(075) 802-6181

※ 新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、内容が変更になる場合があります。

## 桃山の花木～〈遠侍〉勅使の間の障壁画～

重要文化財二の丸御殿障壁画は、寛永3年(1626)に完了した二条城の大改修の際に、狩野探幽(1602～74)率いる狩野派一門によって制作されました。今回は、朝廷からの使いが通された場所とされる〈遠侍〉勅使の間のうち、下段に描かれた障壁画を公開します。展示収蔵館において、これらを御殿での配置を再現して公開するのは、今回が初めてです。

勅使の間の下段には、檜、海棠、桃、青楓など、春から初夏の花木が描かれています。そのうち、今回修理後初公開となる南側の壁面に描かれた大きな檜の木立は、天井を突き抜けるほどの大きさを暗示するとともに、金地に根を張る木々の配置と、木々の前後にたなびく金雲によって、奥行きが示されています。このような特徴は、美術史で言う桃山時代後期の狩野派に見られるものです。筆者の狩野甚之丞(1583～1628)は、桃山絵画の巨匠、狩野永徳(1543～90)の甥にあたり、永徳の長男である狩野光信(1565～1608)の庇護を受けたと言われています。カーブしながら伸びる花木の枝は、光信の様式を受け継いだものですが、枝を複雑に交差させるところに、甚之丞の個性が現れています。

南側の壁面のうち東よりの2面と、北側の腰障子のうち西よりの4面は、後世、全面的に描きなおされたものです。これまでの調査によって、南側の壁貼付2面は、元の絵と異なることが明らかになりました。さらに、描きなおされた時期が、二条城が離宮となって間もなく実施された城内の大規模な修理の際であったことも判明しました。今回は、これらの調査の成果についても紹介します。障壁画の変遷を通じて、幕末から近代にかけての、二条城の激動の歴史にも触れていただきたいと思います。

初公開となる二組の杉戸絵のうち、《芍薬図》も甚之丞によるものです。もう一方の《桜小禽図》は、盛上胡粉の技法を用いた花びらと、優美な尾長鳥が見所です。



〈遠侍〉勅使の間障壁画《楓檜桃小禽図》部分



〈遠侍〉勅使の間障壁画《楓檜桃小禽図》部分